

(単位：千円)

環境局 予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
京都CO <sub>2</sub> マイナス10プロジェクト(仮称) ～家庭からの脱温暖化～	<p>京都市地球温暖化対策条例では、市内の温室効果ガスの排出量を平成22年までに平成2年レベルから産業部門、運輸部門等の各部門において10%削減することを目標としている。しかしながら、民生・家庭部門からの温室効果ガス排出量は、今なお増加しており、市民生活にかかわりが深いこの部門における削減対策が急務となっている。民生・家庭部門では、市民の自発的行動が何よりも必要とされることから、「理解から行動へ」意識改革を進め、自主的な行動を誘導するための取組を強化する。</p> <p>&lt;取組内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の自主的な行動を促進する「参加・行動型」の「京都エコキャンペーン」(エコライフ宣言, エコアクション・コンテスト, 商店街でのCO<sub>2</sub>削減ポイントカード発行など)</li> <li>・地域ぐるみで重点的に省エネ活動に取り組む「CO<sub>2</sub>排出量10%削減モデル事業」(省エネナビや太陽光発電キットの貸与, 環境家計簿, 省エネ相談員の派遣など)</li> <li>・各行政区1小学校で環境家計簿を実施する「こどもエコライフチャレンジ推進事業」など</li> </ul> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>民生・家庭部門での温室効果ガス排出量10%削減</p>	42,447	20,000	<p>要求どおり</p> <p>積算内容精査</p> <p>事業内容精査</p>
地球温暖化防止京都会議(COP3)開催10周年記念事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10周年記念シンポジウム 地球温暖化防止京都会議の開催10周年を迎えるに当たり、地球温暖化対策の取組状況と今後の方向性、展望を考えるシンポジウムを府市協調で実施する。</li> <li>・環境先進都市・京都の未来を描く これまでの本市の地球温暖化対策の取組を点検評価し、2030年以降の長期的な視点から、良好な地球環境を「引き継ぐ」大人と「受け継ぐ」子どもの双方が共有できる京都の未来像を描き、これを発表する記念行事を開催する。</li> </ul> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>全国に先駆け「環境への負荷の少ない持続可能な都市・京都」の将来ビジョンを発表し、更なる取組を推進するためのメッセージを発信する。</p>	12,000	10,000	<p>要求どおり</p> <p>積算内容精査</p> <p>事業内容精査</p>
バイオマス利活用京都モデル実証実験  <有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>	<p>石油等の代替燃料として利用可能な生ごみや剪定枝などの家庭や地域から発生するバイオマス資源を対象に、京都の地域特性に応じた、最適かつ効率的なバイオマス利活用システムを構築するため、回収からエネルギー活用に至るモデル実証実験を行う。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>バイオマスの有効の有効利用に向け、本市にふさわしい循環システムのあり方を探り、「脱温暖化社会」、「循環型社会」の構築に資する。</p>	10,000	10,000	<p>要求どおり</p> <p>積算内容精査</p> <p>事業内容精査</p>

(単位：千円)

環境局予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
有料化1年シンポジウム(仮称)の開催 <有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>	有料指定袋制導入によるごみ減量の効果検証や家庭や地域でのごみ減量活動の取組事例の紹介などを行うシンポジウムを開催する。 <成果目標> 有料指定袋制度の意義を再確認することにより、更なる環境意識の向上を図り、ごみ減量の取組を一層促進する。	5,600	5,600	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査
ごみ減量相談窓口(仮称)の設置 <有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>	地域に身近な環境行政の拠点であるまち美化事務所に、新たに「ごみ減量相談窓口」を設置し、コミュニティ回収や各種拠点回収の拡大に向けた啓発活動やごみ減量に対する取組への助言などを行う相談員を配置し、地域における環境施策の普及、啓発を推進する。 <成果目標> 地域に身近な情報発信の拠点として、まち美化事務所の機能を強化し、市民の主体的なごみ減量の取組等を支援することで、更なるごみの減量化、まちの美化を推進する。	39,000	39,000	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査
ごみ減量先進的取組支援事業 <有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>	民間事業者や市民団体などが実施するごみ減量や地球温暖化防止を目的とした先進的な取組のうち、事業としての方向性は見出されているものの一定規模の実証研究や試行実施が必要な事業に対して支援を行い、本格的な事業化、実用化を促進する。 <成果目標> ごみの減量に資する先進的な取組に対して支援を行うことにより、「脱温暖化社会」、「循環型社会」の構築に資する。	31,000	31,000	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査
小・中学生の環境体験学習プログラム <有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ分別リサイクル体験学習                幼少期から地球環境を意識し、生活様式の見直しの必要性を感じてもらうために、小学校の環境教育の一環として、ごみの分別リサイクルの体験学習をモデル実施する。</li> <li>・環境絵画コンクールの実施                環境への意識の向上及び更なる自主的な取組の推進を図ることを目的に、小・中学校において将来の循環型社会をイメージした環境絵画コンクールを実施し、これを市民に広く紹介する。</li> </ul> <成果目標> 将来を担う世代に対して、環境教育、環境学習の機会を拡大する。	9,300	9,300	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査

(単位：千円)

環境局 予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
スプレー缶分別収集 <有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>	適正な処理が課題となっているスプレー缶の分別収集を平成19年10月(予定)に開始し、適正処理及び市民の分別・リサイクル機会の拡大を図る。 <成果目標> 市民の分別・リサイクルの機会を拡大するとともに、適正処理が困難なスプレー缶の資源回収システムを確立する。	1,700	1,700	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査
区民提案型パートナーシップ事業 <有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>	ごみ減量やまちの美化、脱温暖化を目的とした身近な取組を促進するため、町内や自治会などの地域コミュニティが、区役所・支所と協働して取り組むごみ減量やまちの美化活動、不法投棄の防止活動などに対して支援を行う。 <成果目標> 地域に根ざした新たなごみ減量等の取組や既存取組の充実を誘導し、地域の自主的な活動を区・支所と連携して行うことにより、パートナーシップの取組を強化し、合せて地域コミュニティの活性化を図る。	14,100	14,100	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査
(この欄は、この表の下部に斜線を引かれた領域に属する)			(この欄は、この表の下部に斜線を引かれた領域に属する)	